

「がん対策・たばこ対策に関する世論調査」の概要

令和元年9月
内閣府政府広報室

- 調査対象 全国の日本国籍を有する18歳以上の者3,000人
有効回収数1,647人(回収率54.9%)
- 調査期間 令和元年7月25日～8月4日(調査員による個別面接聴取)
- 調査目的 がん対策・たばこ対策に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 調査項目 1 がん対策について
2 たばこ対策について
- 調査実績 「がん対策に関する世論調査」
(平成28年11月, 26年11月, 25年1月, 21年9月, 19年9月調査)
- その他
- ・ 本資料では、過去の調査結果との比較において、統計学的に有意差(信頼度95%)が認められる回答については、「↑」(比率の上昇を表す)または「↓」(低下を表す)と記載している。
 - ・ 平成28年度以降、調査対象者の年齢を18歳以上に引き下げたため、20歳以上で実施した27年度までの調査との比較には注意を要する。
 - ・ 図表の数値(%)は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、内訳の合計が100にならないこともある。

1 がん対策

(1) がんに対する印象

問1 あなたは、がんについてどのような印象を持っていますか。
この中から1つだけお答えください。

	平成 28 年 11 月	→	令和元年 7 月
・ <u>こわいと思わない</u> (小計)	26.8%		<u>26.8%</u>
・ こわいと思わない	15.8%		15.4%
・ どちらかといえばこわいと思わない	11.1%		11.5%
・ <u>こわいと思う</u> (小計)	72.3%		<u>71.8%</u>
・ どちらかといえばこわいと思う	29.9%		34.2% ↑
・ こわいと思う	42.4%		37.6% ↓

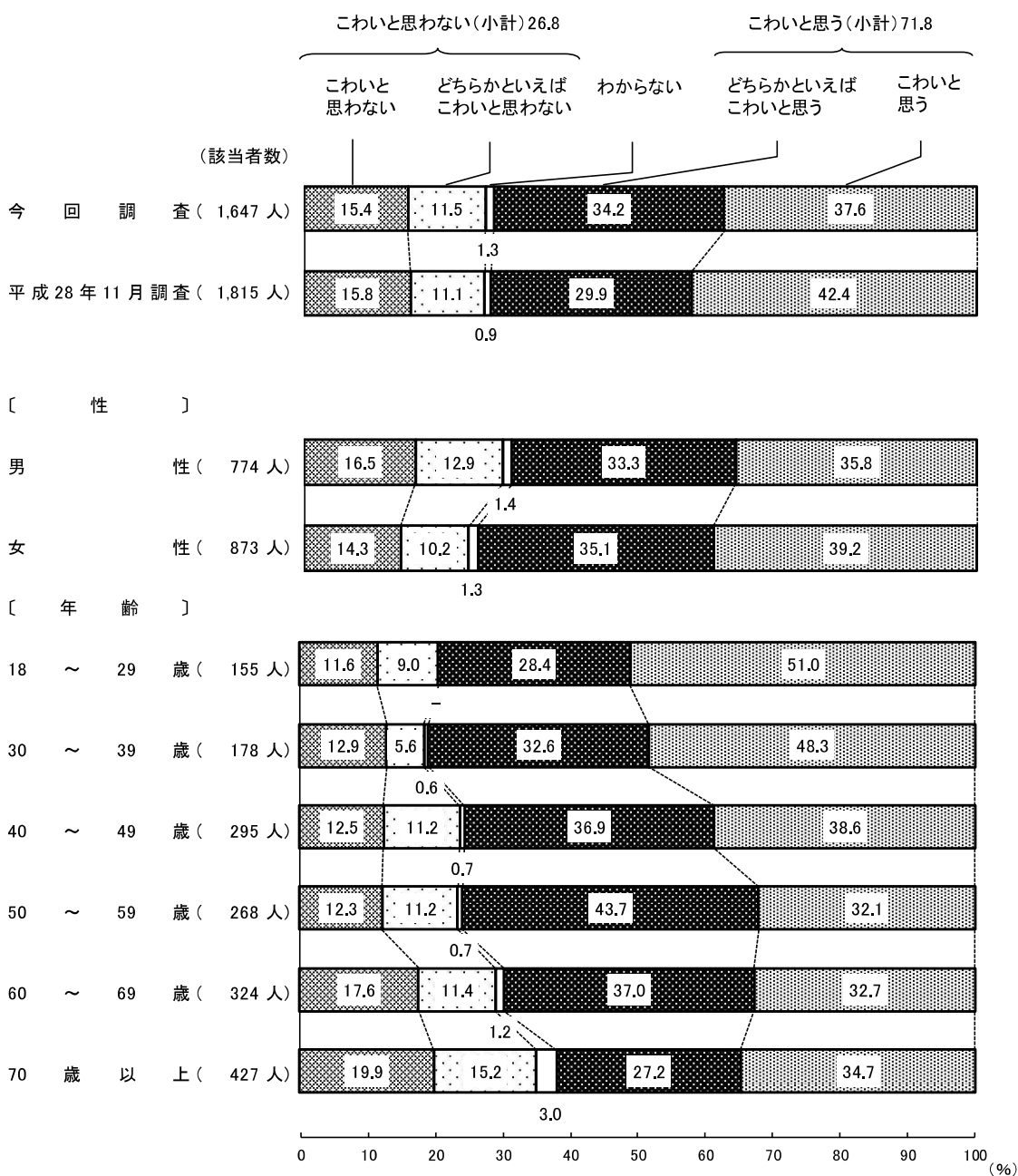


表1－参考1 がんに対する印象

	該 当 者 数	こ わ い と 思 わ な い			こ わ い と 思 う			わ か ら な い
		(小計)		ど ち ら か と い え ば こ わ い と 思 わ な い		ど ち ら か と い え ば こ わ い と 思 う	こ わ い と 思 う	
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成21年9月調査	1,935	23.8	14.1	9.7	75.7	30.4	45.3	0.5
平成25年1月調査	1,883	22.4	12.1	10.2	76.7	33.4	43.3	1.0
平成26年11月調査	1,799	24.6	13.6	11.1	74.4	33.2	41.2	0.9
平成28年11月調査 (うち20歳以上)	1,790	27.1	16.0	11.1	72.0	29.9	42.1	0.9
平成28年11月調査	1,815	26.8	15.8	11.1	72.3	29.9	42.4	0.9
今回調査	1,647	26.8	15.4	11.5	71.8	34.2	37.6	1.3

ア がんをこわいと思う理由

更問 (問1で「どちらかといえばこわいと思う」、「こわいと思う」と答えた方(1,183人)に)
 あなたが、がんをこわいと思う理由を、この中からいくつでもあげてください。
 (複数回答)

	(上位4項目)	
	平成28年11月	令和元年7月
・がんで死に至る場合があるから	72.1%	→ 73.1%
・がんの治療や療養には、家族や親しい友人などに負担をかける場合があるから	55.2%	→ 52.4%
・がんそのものや治療により、痛みなどの症状が出る場合があるから	50.0%	→ 46.7%
・がんの治療費が高額になる場合があるから	46.3%	→ 43.7%

〔 がんに対する印象について、「どちらかといえばこわいと思う」、「こわいと思う」と答えた者に、複数回答 〕

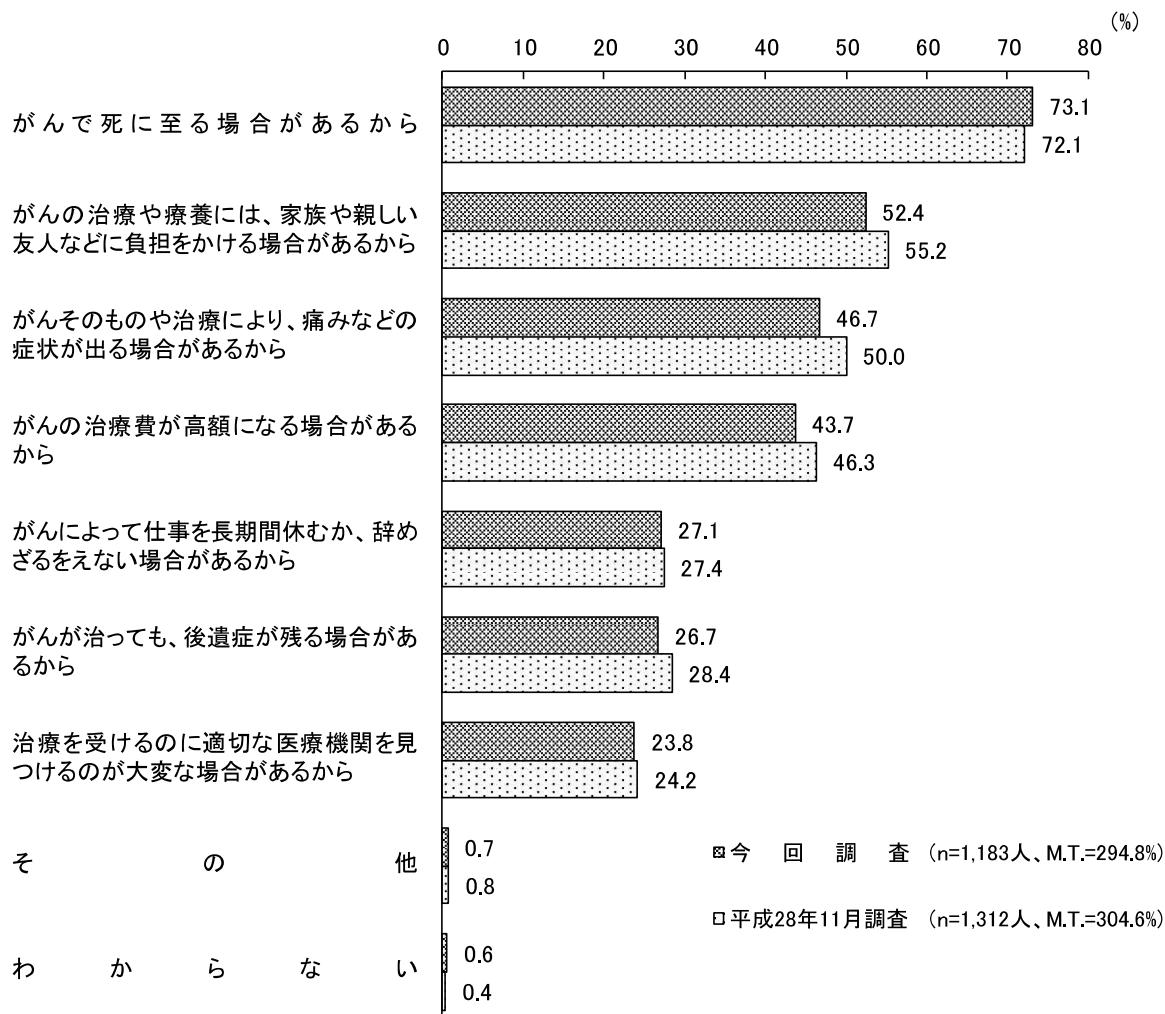


表2-参考 がんをこわいと思う理由

(がんに対する印象について、「どちらかといえばこわいと思う」、「こわいと思う」と答えた者に、複数回答)

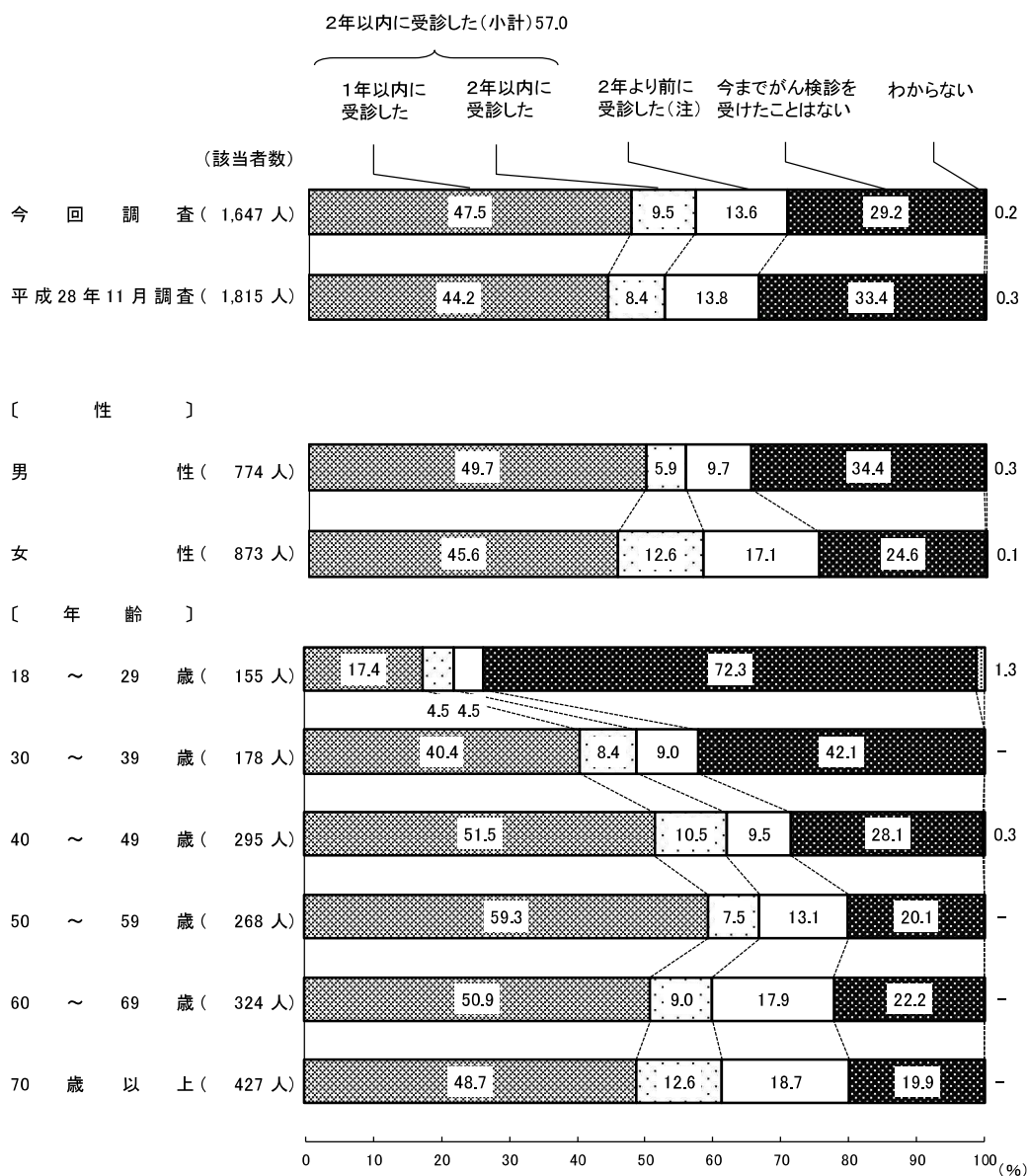
	該 当 者 数	が ん で 死 に 至 る 場 合 が あ る か ら	が ん の 治 療 や 療 養 に は 、 家 族 や 親 し い 友 人 な ど に 負 担 を か け る 場 合 が あ る か ら (注)	が ん の 治 療 が あ る か ら の や 治 療 に よ り 、 痛 み な ど の 症 状 が 出 る 場 合 が あ る か ら	が ん の 治 療 費 が 高 額 に な る 場 合 が あ る か ら	が ん に よ つ て 仕 事 を 長 期 間 休 む か 、 辞 め ざ る を え ない 場 合 が あ る か ら	が ん が 治 つ て も 、 後 遺 症 が 残 る 場 合 が あ る か ら	治 療 を 受 け る の に 適 切 な 医 療 機 関 を 見 つ け る の が 大 変 な 場 合 が あ る か ら	そ の 他	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年1月調査	1,444	75.1	36.4	50.5	46.5	26.5	30.6	23.1	0.9	0.3	289.8
平成26年11月調査	1,339	72.9	35.5	53.9	45.9	25.8	28.5	23.7	1.3	0.4	288.1
平成28年11月調査 (うち20歳以上)	1,289	71.8	55.4	50.3	46.8	27.7	28.2	24.4	0.8	0.4	305.7
平成28年11月調査	1,312	72.1	55.2	50.0	46.3	27.4	28.4	24.2	0.8	0.4	304.6
今回調査	1,183	73.1	52.4	46.7	43.7	27.1	26.7	23.8	0.7	0.6	294.8

(注) 平成26年11月調査までは、「がんに対する治療や療養には、家族や親しい友人などの協力が必要な場合があるから」となっている。

(2) がん検診の受診状況

問2 胸や胃のレントゲン撮影やマンモグラフィ撮影などによるがん検診が行われています。あなたは、こういったがん検診を受けたことがありますか。この中からあてはまるものを1つだけお答えください。

	平成 28 年 11 月	令和元年 7 月
・ 2 年以内に受診した (小計)	52.6%	57.0% ↑
・ 1 年以内に受診した	44.2%	47.5%
・ 2 年以内に受診した	8.4%	9.5%
・ 2 年より前に受診した	13.8%	13.6%
・ 今までがん検診を受けたことはない	33.4%	29.2% ↓



(注) 平成28年11月調査では、「2年以上前に受診した」となっている。

表3-参考1 がん検診の受診状況

	該 当 者 数	2 年 以 内 に 受 診 し た (小診計した)	1 年 以 内 に 受 診 し た	2 年 以 内 に 受 診 し た	2 年 よ り 前 に 受 診 し た (注)	今 ま で が ん 検 診 を 受 け た こ と は な い	わ か ら な い
			%	%			
平成28年11月調査	1,815	52.6	44.2	8.4	13.8	33.4	0.3
今回調査	1,647	57.0	47.5	9.5	13.6	29.2	0.2

(注) 平成28年11月調査では、「2年以上前に受診した」となっている。

ア がん検診を受けない理由

更問 (問2で「2年より前に受診した」、「今までがん検診を受けたことはない」と答えた方(705人)に)
 あなたが、これまであるいは最近、がん検診を受けていない理由は何ですか。
 この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位3項目)

	平成28年11月	→	令和元年7月
・受ける時間がないから	30.6%		28.9%
・健康状態に自信があり、必要性を感じないから	29.2%		25.0%
・心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	23.7%		23.4%

〔胸や胃のレントゲン撮影やマンモグラフィ撮影などによるがん検診を「2年より前に受診した」、「今までがん検診を受けたことはない」と答えた者に、複数回答〕

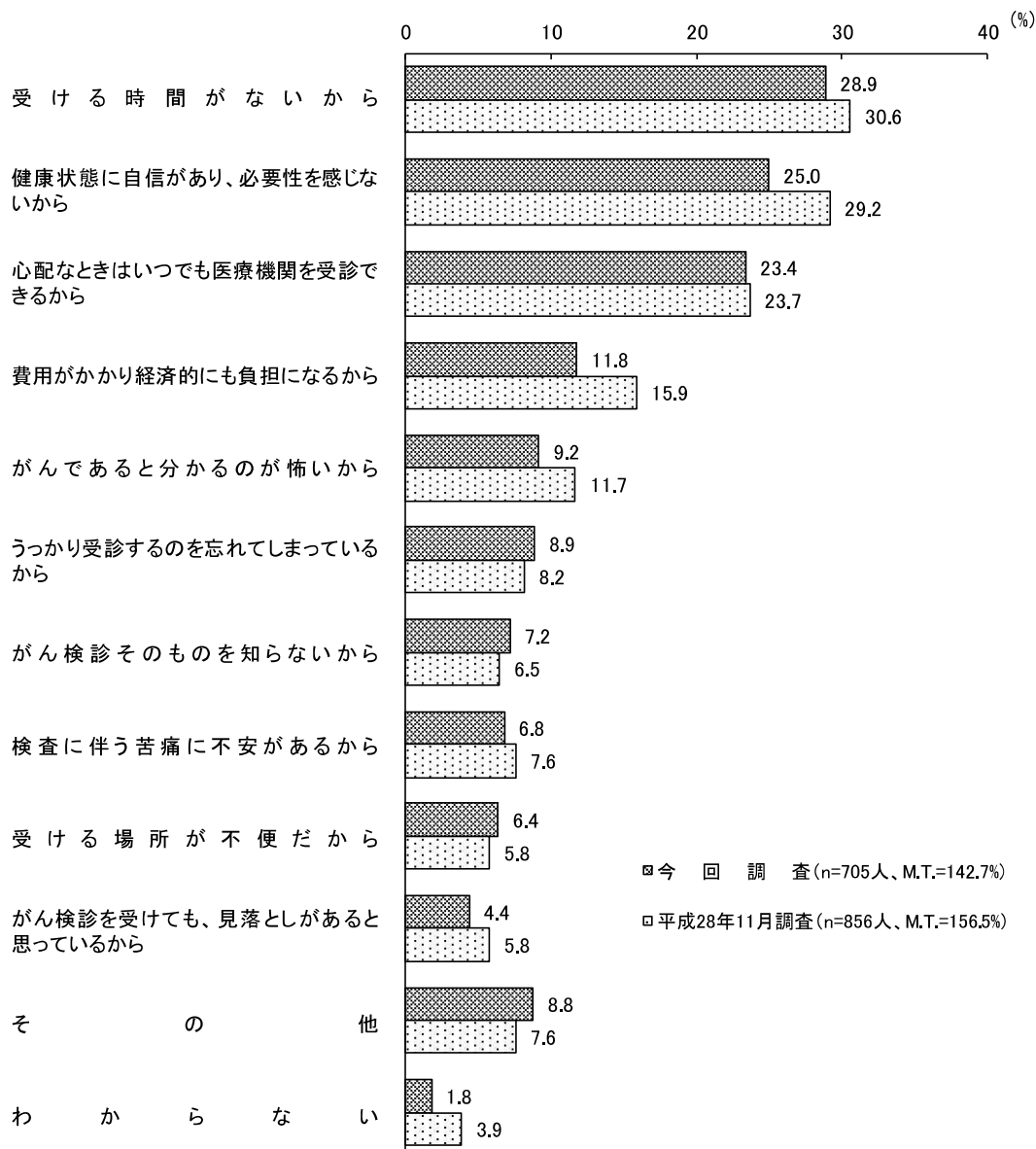


表4-参考1 がん検診を受けない理由

〔 胸や胃のレントゲン撮影やマンモグラフィ撮影などによるがん検診を「2年より前に受診した」、「今までがん検診を受けたことはない」と答えた者に、複数回答 〕

	該 当 者 数	受 け る 時 間 が な い か ら	健 康 状 態 に 自 信 が あ り 、 必 要 性 を	心 配 な ど き は い つ で も 医 療 機 関 を	費 用 が か か り 経 済 的 に も 負 担 に な	が ん で あ る と 分 か る の が 怖 い か ら	ま っ た り 受 診 す る の を 忘 れ て し ま っ て い る か ら	が ん 検 診 そ の も の を 知 ら な い か ら	検 査 に 伴 う 苦 痛 に 不 安 が あ る か ら	受 け る 場 所 が 不 便 だ か ら	が ん 検 診 を 受 け て も 、 見 落 と し が あ る と 思 っ て い る か ら	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)	
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成28年11月調査	856	30.6	29.2	23.7	15.9	11.7	8.2	6.5	7.6	5.8	5.8	7.6	3.9	156.5	
今回調査	705	28.9	25.0	23.4	11.8	9.2	8.9	7.2	6.8	6.4	4.4	8.8	1.8	142.7	

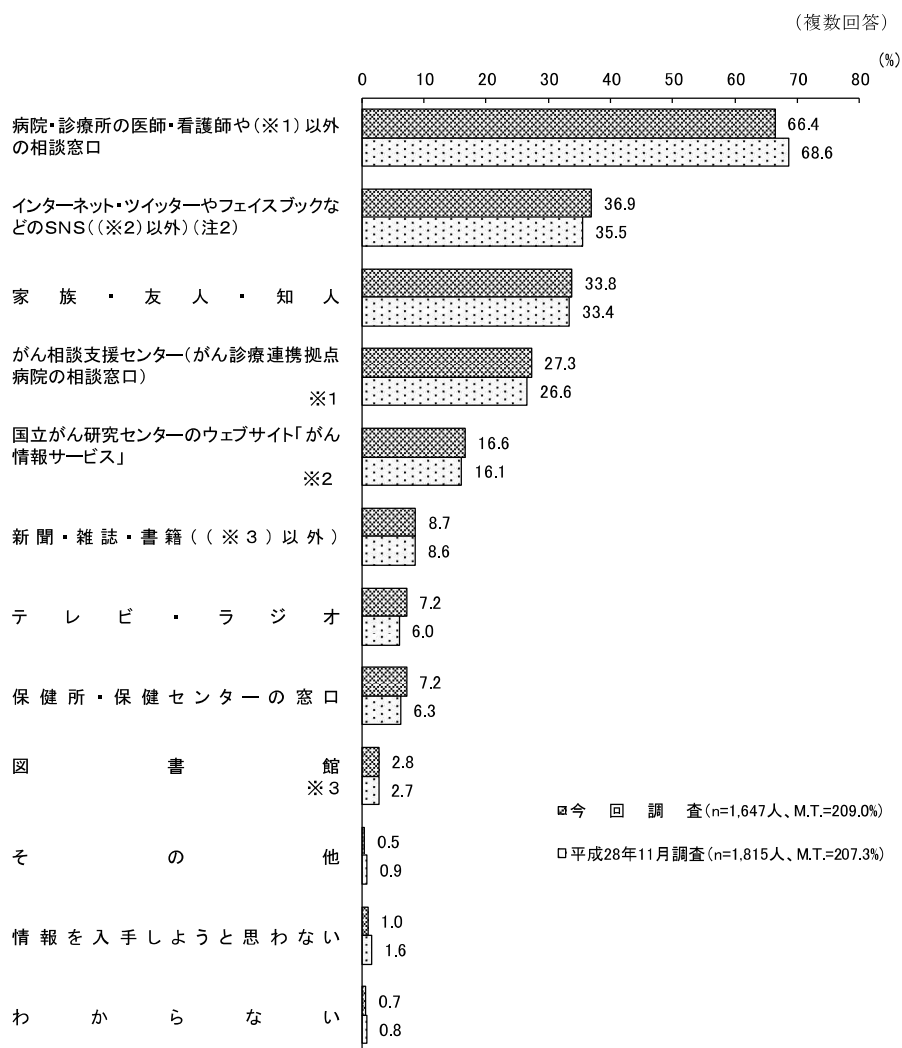
(3) がんの治療法や病院に関する情報源

問3 あなたは、がんと診断されたら、がんの治療法や病院に関する情報について、どこから入手しようと思いますか。*1
この中からあてはまるものをいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位4項目)

平成28年11月 令和元年7月

・病院・診療所の医師・看護師や(がん相談支援センター)以外の相談窓口	68.6%	→	66.4%
・インターネット・ツイッターやフェイスブックなどのSNS(「がん情報サービス」以外)	35.5%	→	36.9%
・家族・友人・知人	33.4%	→	33.8%
・がん相談支援センター(がん診療連携拠点病院の相談窓口)	26.6%	→	27.3%



(注1) 平成28年11月調査では、「あなたは、がんと診断されたら、ご自身のがんの治療法や病院について、どこで情報を入手しようと思いますか。この中からあてはまるものをいくつでもあげてください。」と聞いている。
(注2) 平成28年11月調査では、「インターネット((※2)以外)」となっている。

表5-参考 がんの治療法や病院に関する情報源

(複数回答)

	該 当 者 数	(※1) 病院・診療所 以外の医師・ 看護師や	(※2) インターネット・ フェイスブック などのSNS (注2)	家 族・ 友人・ 知人	がん相談 連携拠点病院 の相談窓口 (注3)※1	国立がん研究 センターのウ ェブ※2	外 新聞・雑誌・ 書籍(※3)以 外	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	保 健 所・ 保 健 セ ン タ ー の 窓 口	図 書 ※3 館	そ の 他	情 報 を 入 手 し よ う と 思 わ な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年1月調査	1,883	60.9	35.6	34.5	43.6	19.9	13.0	10.9	9.3	3.9	0.4	0.8	0.5	233.2
平成26年11月調査	1,799	60.3	35.6	32.5	45.2	19.3	11.7	7.9	9.2	3.3	0.4	0.6	0.4	226.5
平成28年11月調査 (うち20歳以上)	1,790	69.0	35.3	33.3	26.8	16.2	8.7	5.9	6.3	2.7	0.9	1.6	0.8	207.5
平成28年11月調査	1,815	68.6	35.5	33.4	26.6	16.1	8.6	6.0	6.3	2.7	0.9	1.6	0.8	207.3
今回調査	1,647	66.4	36.9	33.8	27.3	16.6	8.7	7.2	7.2	2.8	0.5	1.0	0.7	209.0

(注1) 平成28年11月調査までは、「あなたは、がんと診断されたら、ご自身のがんの治療法や病院について、どこで情報を入手しようと思いますか。この中からあてはまるものをいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成28年11月調査までは、「インターネット(※2)以外」となっている。

(注3) 平成25年1月調査では、「がん診療連携拠点病院(がんの治療を行うとともに、地域の医療機関との連携の中心となる役割があり、国が指定を行っている病院)の相談支援センター」となっている。
平成26年11月調査では、「がん診療連携拠点病院(がんの治療を行うとともに、地域の医療機関との連携の中心となる役割があり、国が指定を行っている病院)の相談支援センター」となっている。

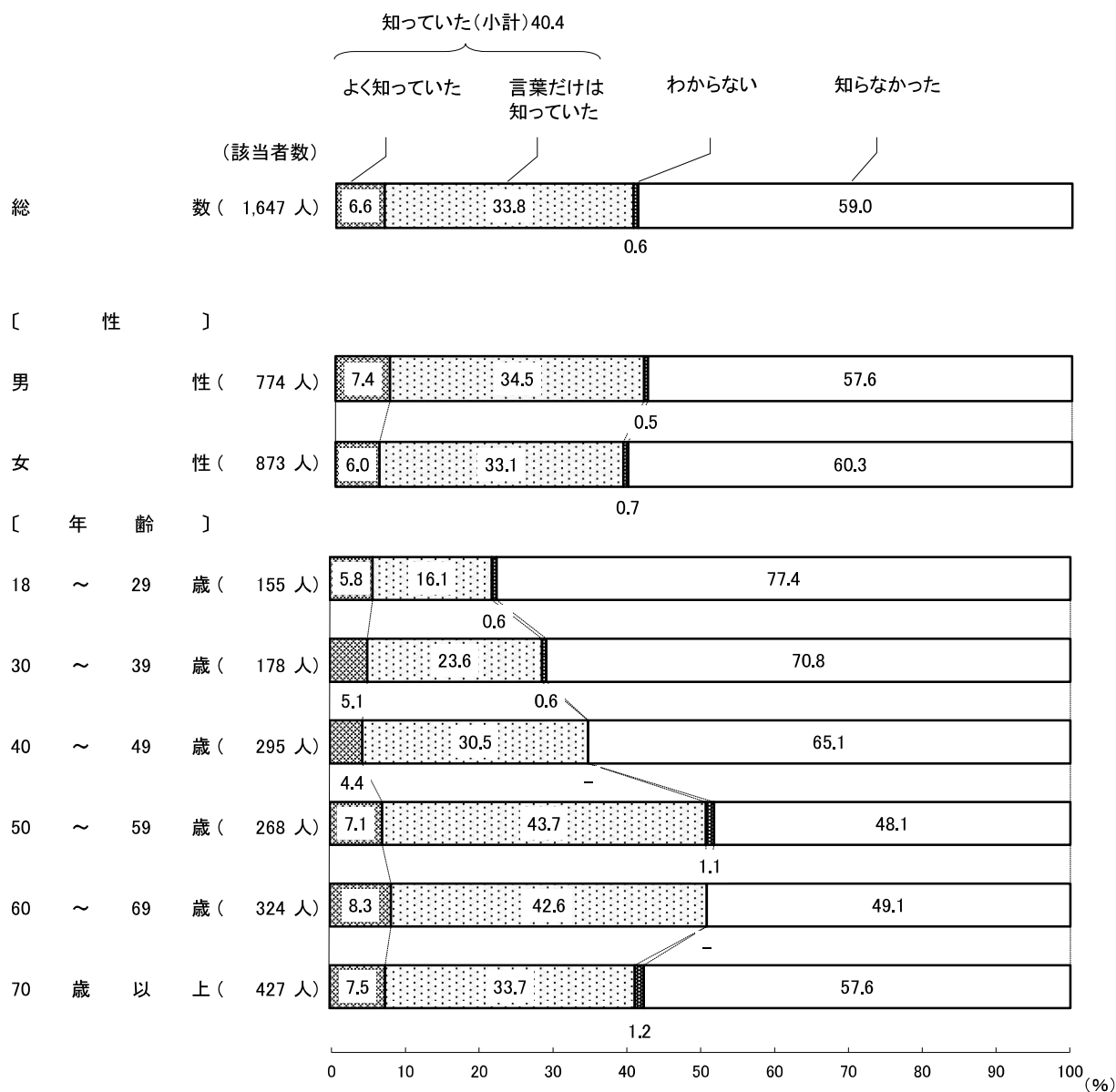
(4) がんゲノム医療の認知度

(資料を提示して調査対象者に読んでもらってから質問)

問4 あなたは、がんゲノム医療について知っていましたか。
この中から1つだけお答えください。

令和元年7月

・ 知っていた (小計)	<u>40.4%</u>
・ よく知っていた	6.6%
・ 言葉だけは知っていた	33.8%
・ 知らなかった	59.0%



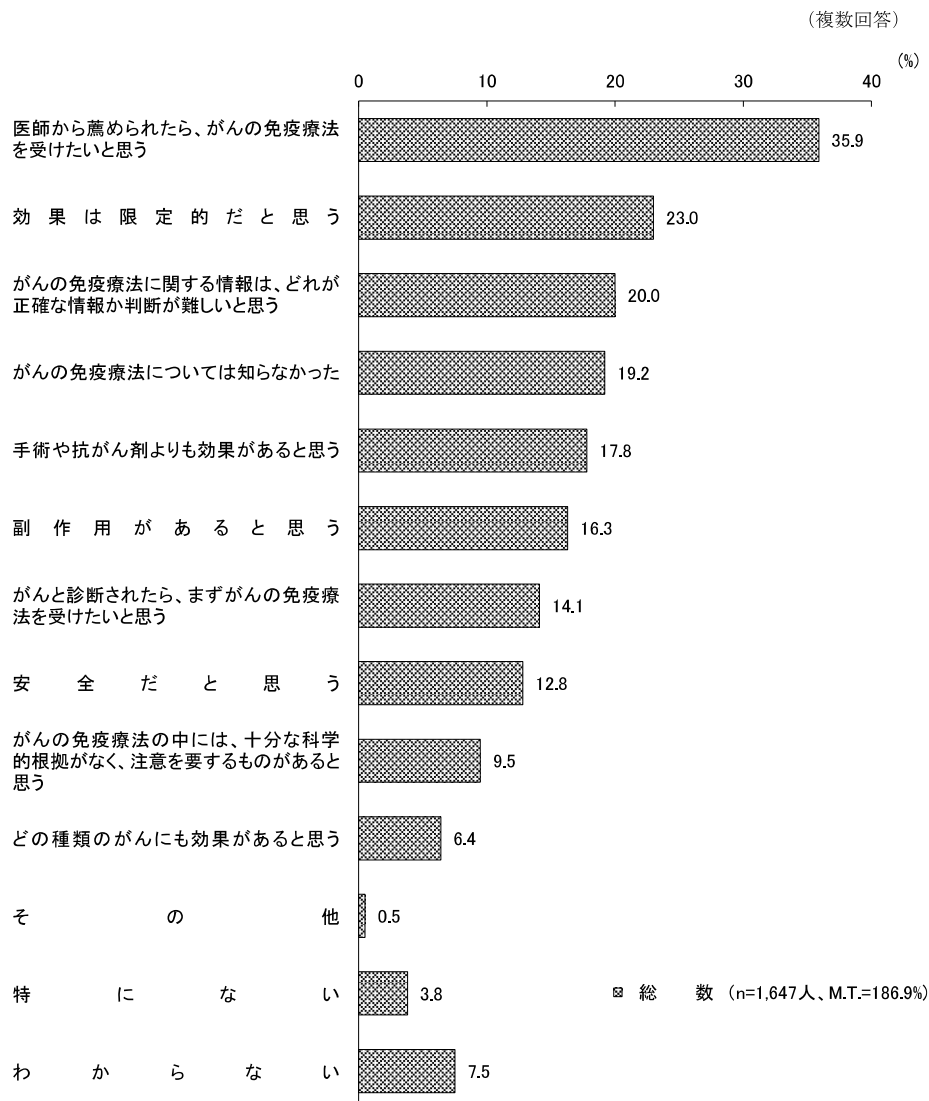
(5) がんの免疫療法に対する意識

(資料を提示して調査対象者に読んでもらってから質問)

問5 あなたは、がんの免疫療法についてどのような印象をもっていますか。
この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位8項目)
令和元年7月

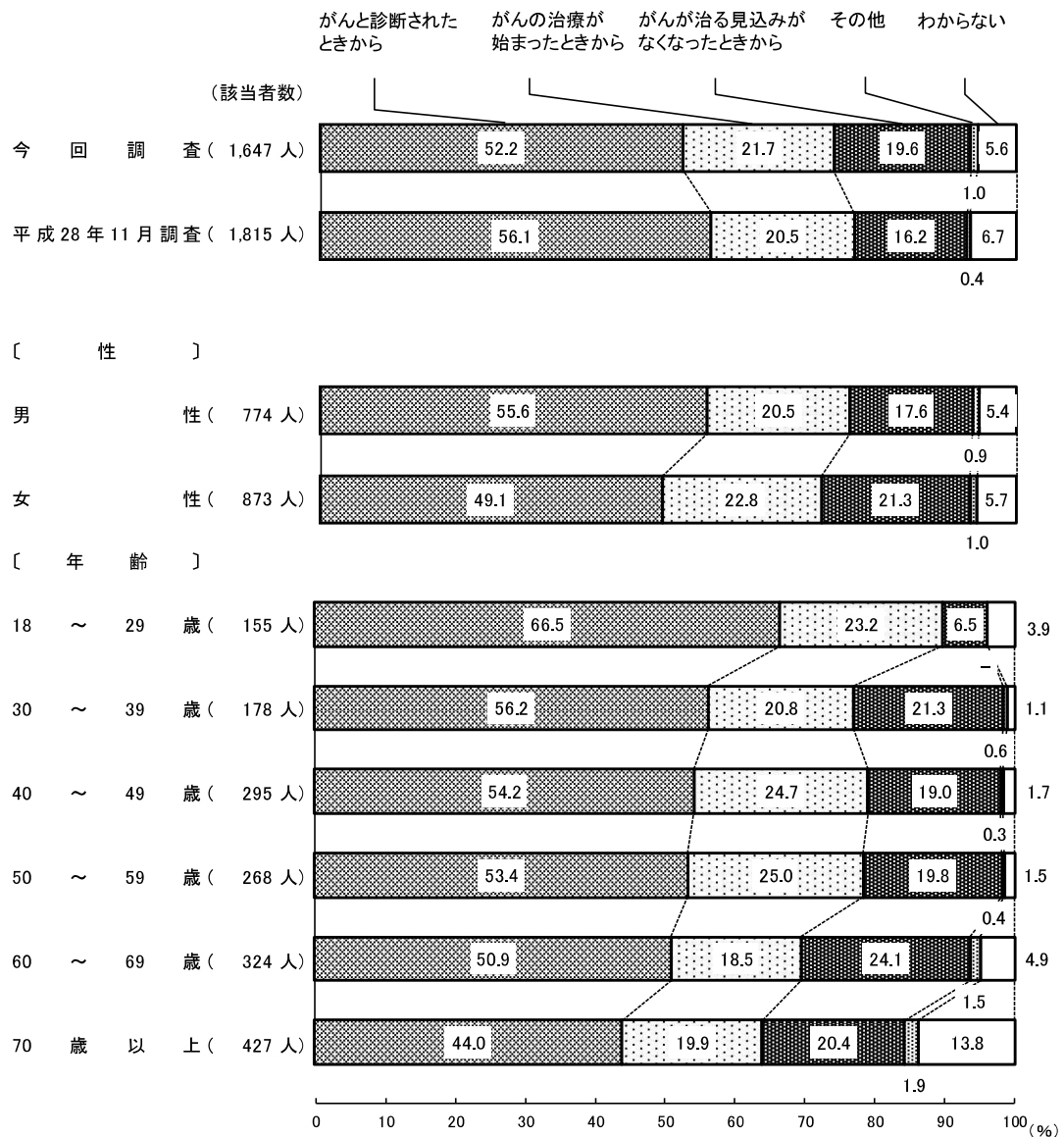
- ・ 医師から薦められたら、がんの免疫療法を受けたいと思う 35.9%
- ・ 効果は限定的だと思う 23.0%
- ・ がん免疫療法に関する情報は、どれが正確な情報か判断が難しいと思う 20.0%
- ・ がんの免疫療法については知らなかった 19.2%
- ・ 手術や抗がん剤よりも効果があると思う 17.8%
- ・ 副作用があると思う 16.3%
- ・ がんと診断されたら、まずがんの免疫療法を受けたいと思う 14.1%
- ・ 安全だと思う 12.8%



(6) 緩和ケアを開始すべき時期

問6 がん医療における緩和ケアとは、がんに伴う体と心の痛みをやわらげることですが、あなたは、がんに対する緩和ケアはいつから実施されるべきものと思っていますか。* この中から1つだけお答えください。

	平成 28 年 11 月	→	令和元年 7 月
・ がんと診断されたときから	56.1%		52.2% ↓
・ がんの治療が始まったときから	20.5%		21.7%
・ がんが治る見込みがなくなったときから	16.2%		19.6% ↑



(注) 平成28年11月調査では、がん医療における緩和ケアとは、がんに伴う体と心の痛みを和らげることで、がん医療における緩和ケアについて知っていたかを聞いた上で、「あなたは、がんに対する緩和ケアはいつから実施されるべきものと思っていますか。」と聞いている。

表8－参考 緩和ケアを開始すべき時期

	該 当 者 数	が ん と 診 断 さ れ た と き か ら	ら が ん の 治 療 が 始 ま っ た と き か	が ん が 治 る 見 込 み が な く な っ た と き か ら	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%
平成25年1月調査	1,883	58.3	22.6	13.1	0.6	5.5
平成26年11月調査	1,799	57.9	21.8	13.9	0.6	5.8
平成28年11月調査 (うち20歳以上)	1,790	55.9	20.5	16.3	0.4	6.8
平成28年11月調査	1,815	56.1	20.5	16.2	0.4	6.7
今回調査	1,647	52.2	21.7	19.6	1.0	5.6

(注) 平成28年11月調査までは、がん医療における緩和ケアとは、がんに伴う体と心の痛みを和らげることですが、がん医療における緩和ケアについて知っていたかを聞いた上で、「あなたは、がんに対する緩和ケアはいつから実施されるべきものと思っていますか。」と聞いている。

(7) 医療用麻薬に対する意識

(資料を提示して調査対象者に読んでもらってから質問)

問7 あなたは、医療用麻薬についてどのような印象を持っていますか。
この中からあてはまるものをいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位4項目)

	平成28年11月	→	令和元年7月
・正しく使用すれば安全だと思う	52.7%		48.3% ↓
・正しく使用すればがんの痛みに効果的だと思う	52.9%		47.5% ↓
・最後の手段だと思う	31.5%		30.4%
・だんだん効かなくなると思う	29.1%		26.8%

(複数回答)

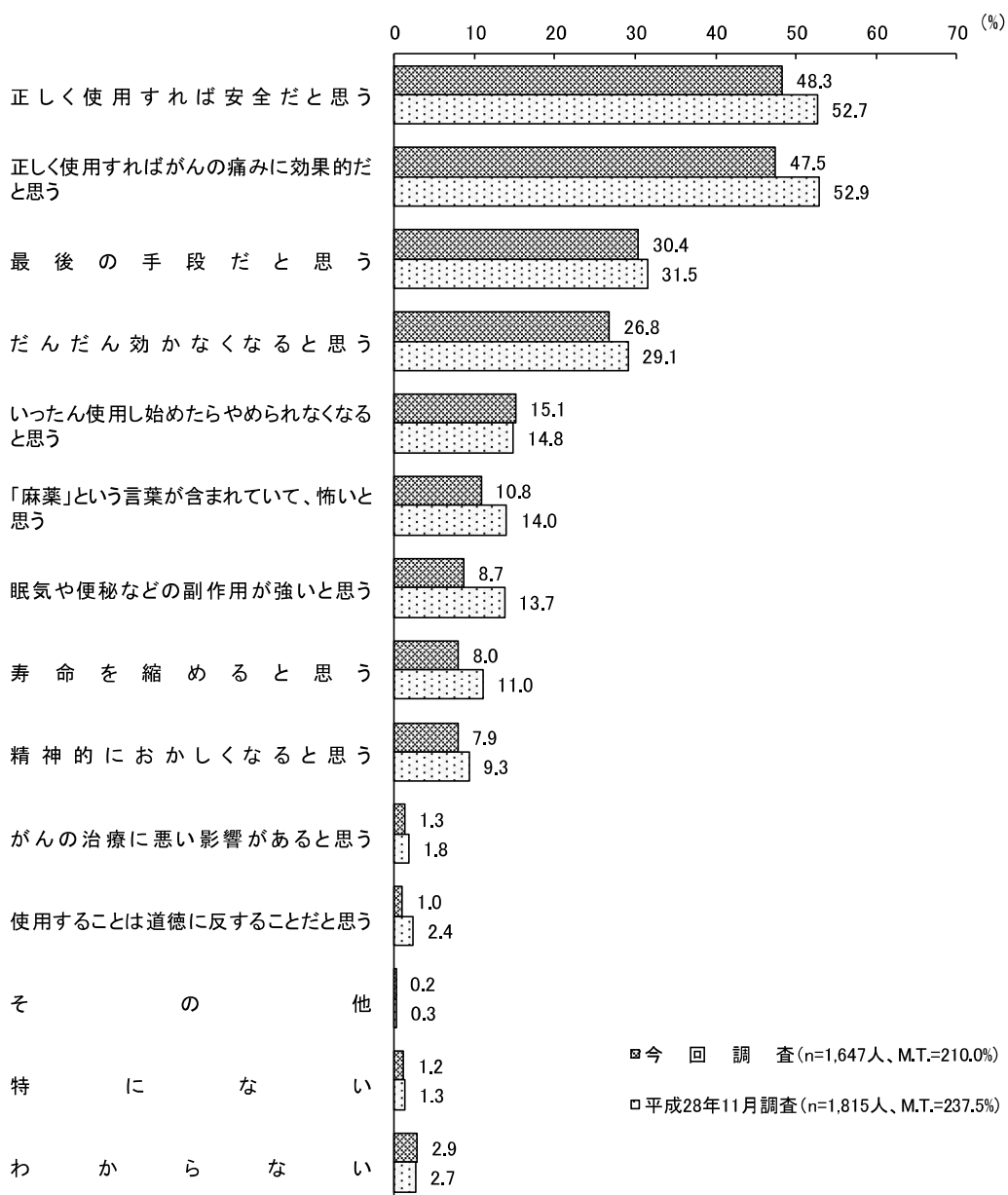


表9－参考 医療用麻薬に対する意識

(複数回答)

	該 当 者 数	正 しく 使用 すれば 安全 だと思 う	正 しく 使用 すれば がんの 痛み に効果 的だと思 う	最 後 の 手 段 だと思 う	だ ん だ ん 効 か な く な る と思 う	い つ た ん 使 用 し 始 め た ら や め ら れ な く な る と思 う	「 麻 薬 」 と い う 言 葉 が 含 ま れ て い て、 怖 い と思 う	眠 気 や 便 秘 な ど の 副 作 用 が 強 い と思 う	寿 命 を 縮 め る と思 う	精 神 的 に お か し く な る と思 う	が ん の 治 療 に 悪 い 影 響 が あ る と思 う	使 用 す る こ と は 道 徳 に 反 す る こ と だ と思 う	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平 成 26 年 11 月 調 査	1,799	52.8	55.7	32.6	37.1	17.7	11.6	15.3	12.9	10.0	2.2	1.2	0.2	0.9	2.2	252.3
平 成 28 年 11 月 以 上 調 査	1,790	52.9	52.9	31.7	29.3	14.9	14.0	13.5	11.0	9.3	1.8	2.3	0.3	1.3	2.7	237.9
平 成 28 年 11 月 調 査	1,815	52.7	52.9	31.5	29.1	14.8	14.0	13.7	11.0	9.3	1.8	2.4	0.3	1.3	2.7	237.5
平 今 回 調 査	1,647	48.3	47.5	30.4	26.8	15.1	10.8	8.7	8.0	7.9	1.3	1.0	0.2	1.2	2.9	210.0

(8) がんであることを話せるか

問8 あなたご自身が、がんと診断されたら、家族や友人などだれか身近な人にがんのことを自由に話せると思いますか。この中から1つだけお答えください。

	平成 28 年 11 月	→	令和元年 7 月
▪ <u>話せると思う (小計)</u>	88.0%		<u>88.8%</u>
・話せると思う	66.4%		66.1%
・どちらかといえば話せると思う	21.5%		22.6%
▪ <u>話せると思わない (小計)</u>	11.4%		<u>10.3%</u>
・どちらかといえば話せると思わない	6.8%		6.3%
・話せると思わない	4.6%		4.1%

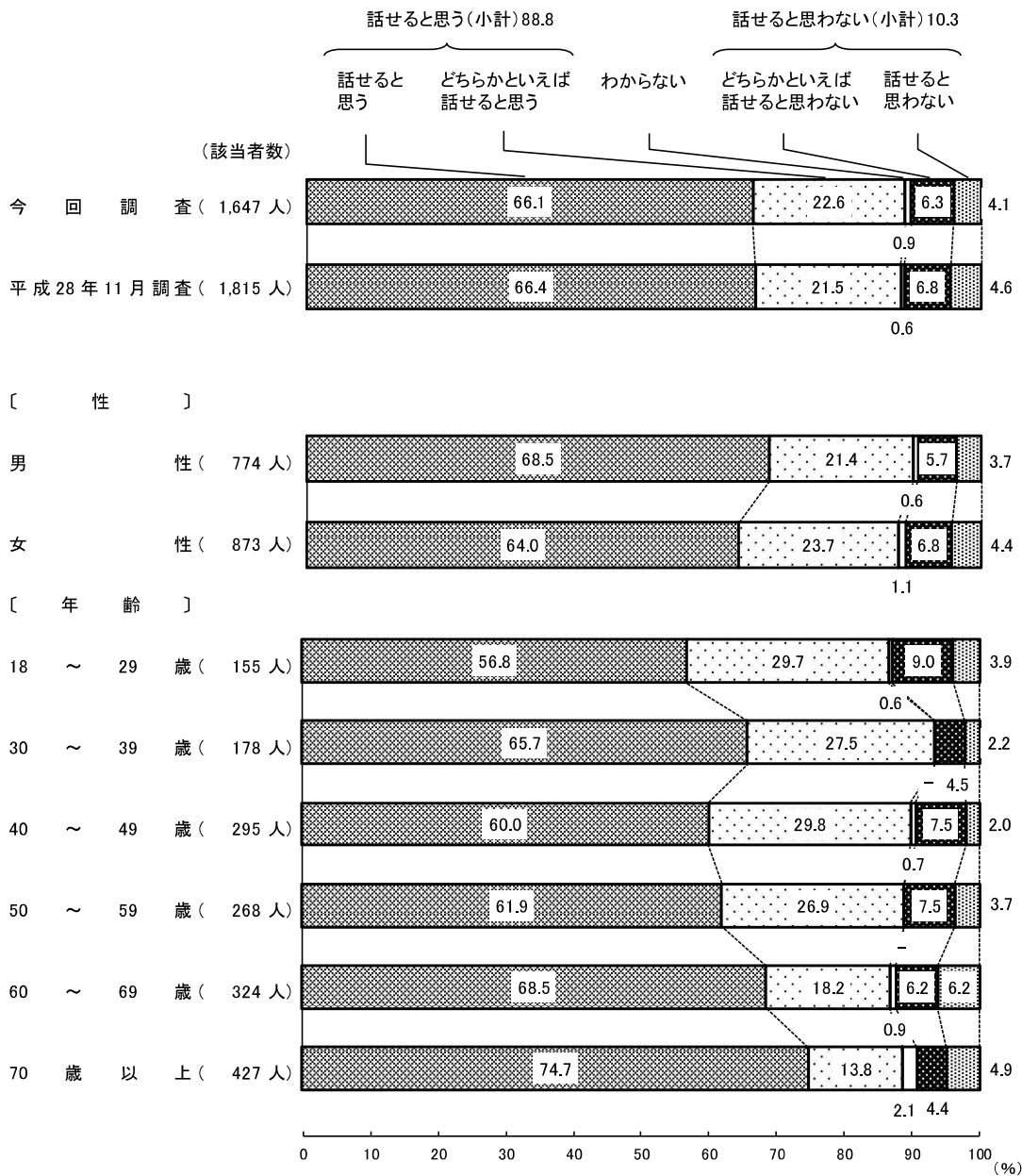


表10-参考 がんであることを話せるか

	該 当 者 数	話 せ る と 思 わ ない (小計)			話 せ る と 思 わ ない (小計)			わ か ら な い
		話 せ る と 思 う	ど ち ら か と い え ば 話 せ る と 思 う	ど ち ら か と い え ば 話 せ る と 思 わ ない	話 せ る と 思 わ ない	ど ち ら か と い え ば 話 せ る と 思 わ ない	話 せ る と 思 わ ない	
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成 25 年 1 月 調 査	1,883	85.7	59.9	25.9	13.0	8.2	4.8	1.3
平成 26 年 11 月 調 査	1,799	87.3	63.1	24.1	11.9	7.9	3.9	0.8
平成 28 年 11 月 調 査 (うち 20 歳 以 上)	1,790	87.8	66.5	21.3	11.6	6.9	4.6	0.6
平成 28 年 11 月 調 査	1,815	88.0	66.4	21.5	11.4	6.8	4.6	0.6
今 回 調 査	1,647	88.8	66.1	22.6	10.3	6.3	4.1	0.9

(9) 仕事と治療等の両立について

問9 現在の日本の社会では、がんの治療や検査のために2週間に一度程度病院に通う必要がある場合、働きつづけられる環境だと思いますか。
この中から1つだけお答えください。

	平成 28 年 11 月	→	令和元年 7 月
・ <u>そう思う</u> (小計)	27.9%		37.1% ↑
・ そう思う	9.8%		12.8% ↑
・ どちらかといえばそう思う	18.1%		24.3% ↑
・ <u>そう思わない</u> (小計)	64.5%		57.4% ↓
・ どちらかといえばそう思わない	35.2%		34.5% ↓
・ そう思わない	29.3%		23.0% ↓

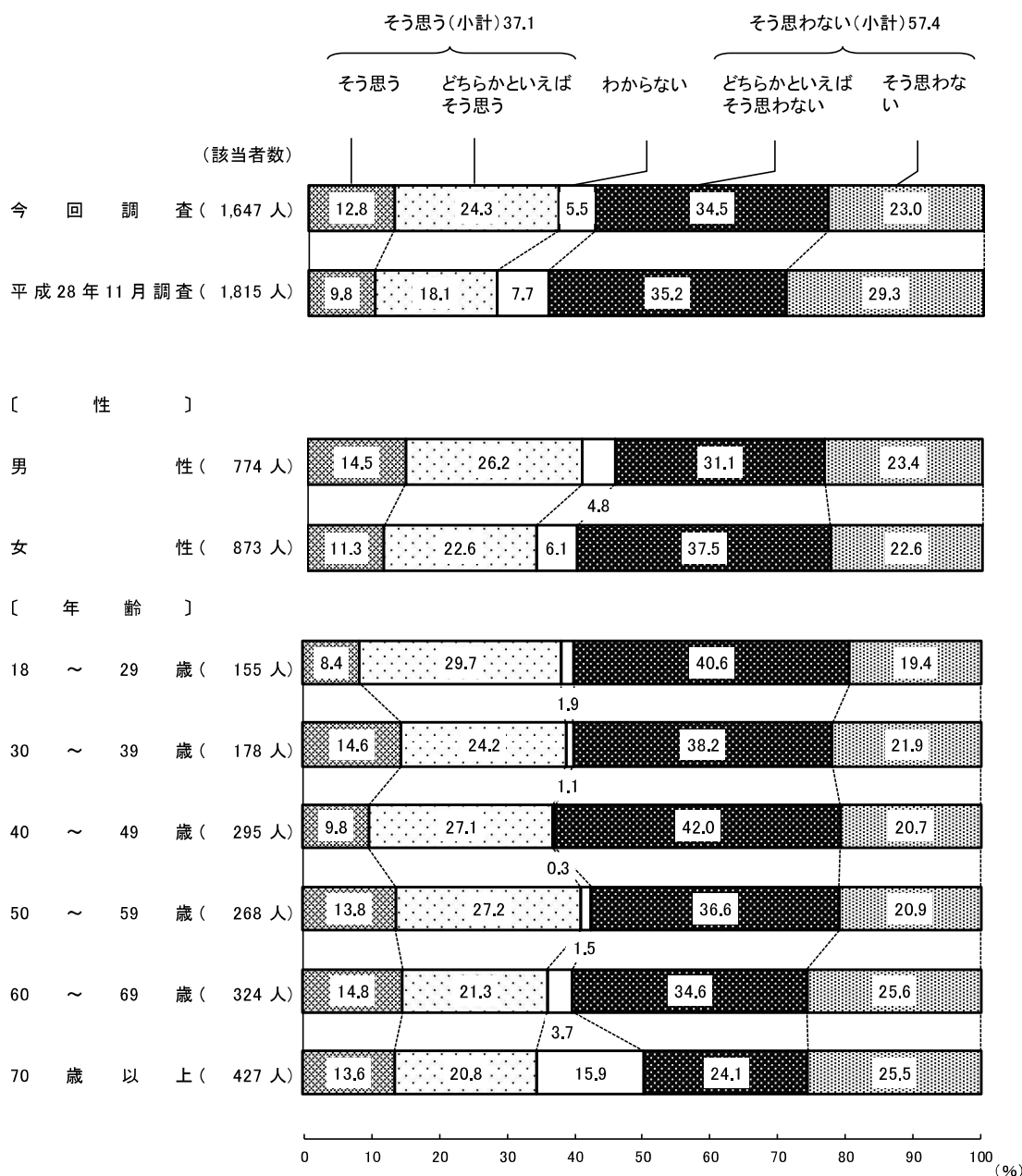


表11－参考 仕事と治療等の両立について

	該 当 者 数	そ う 思 う (小計)			そ う 思 わ ない (小計)			わ か ら な い
		そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	そ う 思 わ ない	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ ない	そ う 思 わ ない		
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成 25 年 1 月 調 査	1,883	26.1	8.2	17.8	68.9	35.8	33.0	5.0
平成 26 年 11 月 調 査	1,799	28.9	10.4	18.5	65.7	38.2	27.5	5.4
平成 28 年 11 月 調 査 (うち 20 歳以上)	1,790	28.0	9.9	18.1	64.2	34.8	29.4	7.8
平成 28 年 11 月 調 査	1,815	27.9	9.8	18.1	64.5	35.2	29.3	7.7
今 回 調 査	1,647	37.1	12.8	24.3	57.4	34.5	23.0	5.5

ア 両立を困難にする最大の要因

更問 (問9で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と答えた方(946人)に) がんの治療や検査のために2週間に一度程度病院に通う必要がある場合、働き続けることを難しくさせている最も大きな理由は何だと思いますか。この中から1つだけお答えください。

	平成28年11月	令和元年7月
・がんの治療・検査と仕事の両立が体力的に困難だから	19.9%	→ 23.5% ↑
・代わりに仕事をする人がいない、または、いても頼みにくいから	21.7%	→ 20.9%
・職場が休むことを許してくれるかどうか分からないから	21.3%	→ 19.1%
・休むと収入が減ってしまうから	15.9%	→ 16.6%
・がんの治療・検査と仕事の両立が精神的に困難だから	12.8%	→ 12.5%
・休むと職場での評価が下がるから	6.0%	→ 5.1%

〔日本の社会は通院しながら働き続けられる環境と思うかについて、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と答えた者に〕

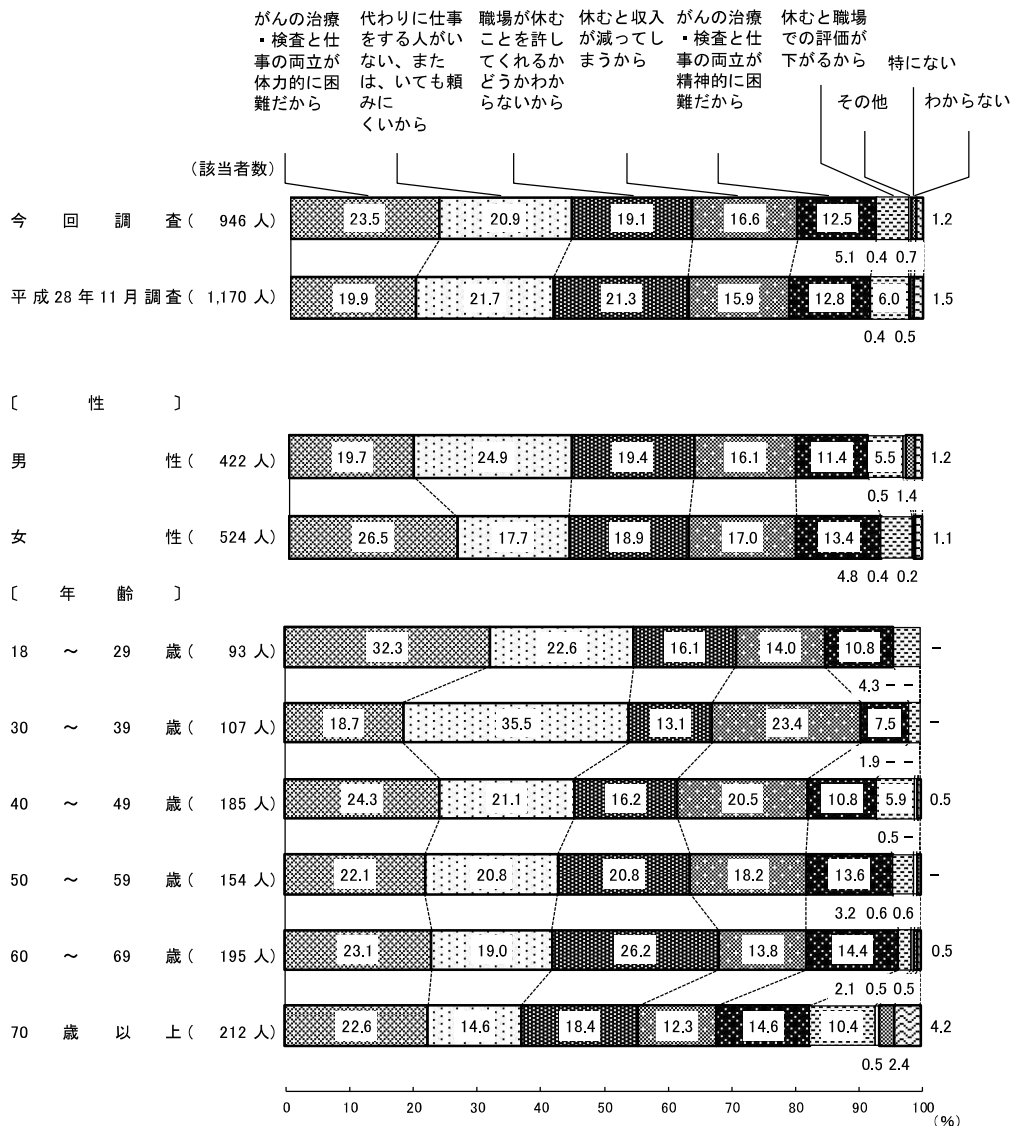


表12-参考 両立を困難にする最大の要因

〔日本の社会は通院しながら働き続けられる環境と思うかについて、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と答えた者に〕

	該 当 者 数	がん 的 に 困 難 だ か ら	代 わ り に 仕 事 を す る 人 が い な い 、 ま	職 場 が 休 む こ と を 許 し て く れ る か ど	休 む と 収 入 が 減 っ て し ま う か ら	神 的 に 困 難 だ か ら	が ん の 治 療 ・ 検 査 と 仕 事 の 両 立 が 精	休 む と 職 場 で の 評 価 が 下 が る か ら	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成26年11月調査	1,182	17.9	22.6	22.2	13.1	13.2	8.8	0.4	0.6	1.3	
平成28年11月調査 (うち20歳以上)	1,150	19.8	21.9	21.1	15.9	12.8	6.0	0.4	0.5	1.5	
平成28年11月調査 今回調査	1,170 946	19.9 23.5	21.7 20.9	21.3 19.1	15.9 16.6	12.8 12.5	6.0 5.1	0.4 0.4	0.5 0.7	1.5 1.2	

2 たばこ対策

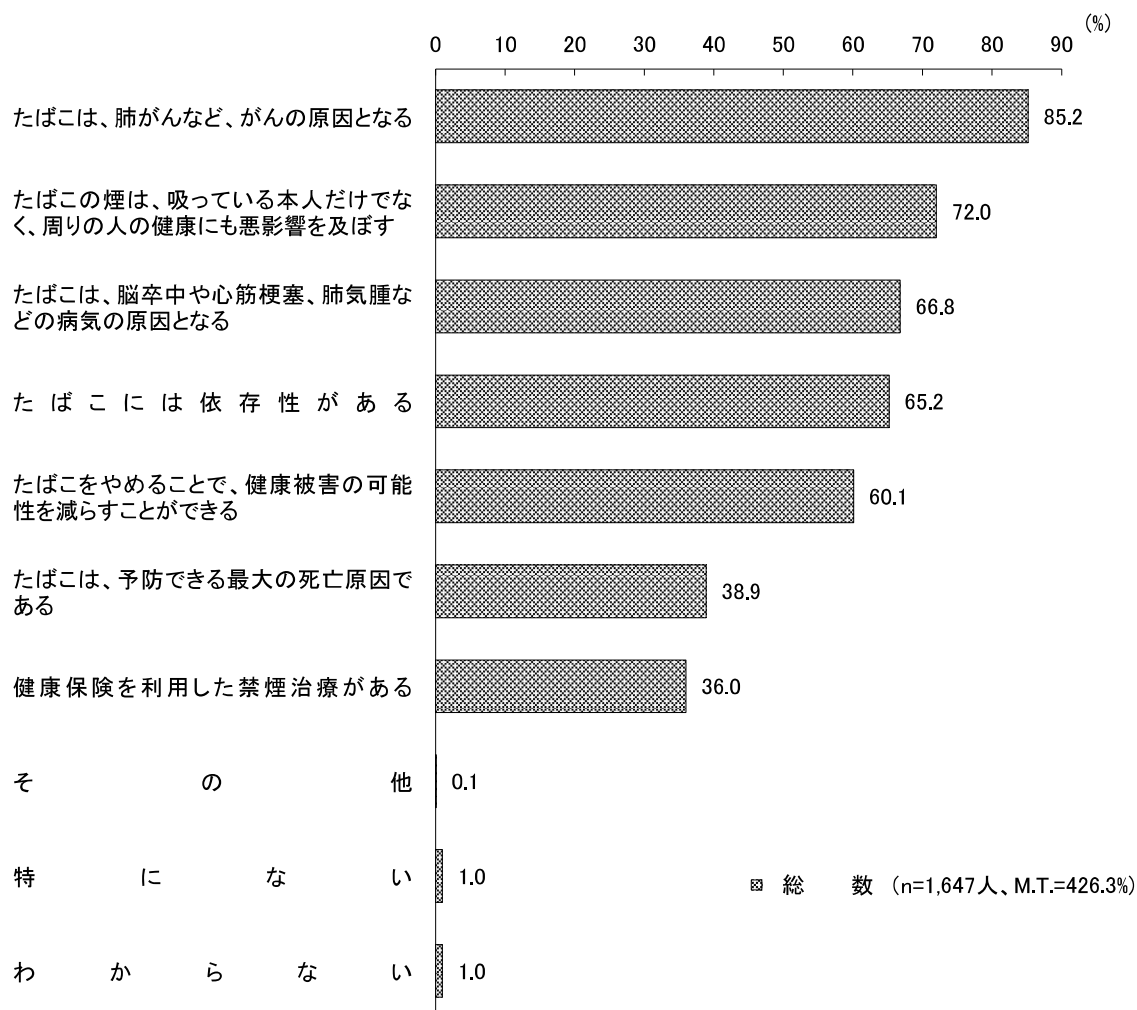
(1) たばこと健康に関する知識

問10 あなたは、たばこと健康に関して、どのようなことを知っていますか。
この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位5項目)
令和元年7月
85.2%

- ・たばこは、肺がんなど、がんの原因となる 85.2%
- ・たばこの煙は、吸っている本人だけでなく、周りの人の健康にも悪影響を及ぼす 72.0%
- ・たばこは、脳卒中や心筋梗塞、肺気腫などの病気の原因となる 66.8%
- ・たばこには依存性がある 65.2%
- ・たばこをやめることで、健康被害の可能性を減らすことができる 60.1%

(複数回答)

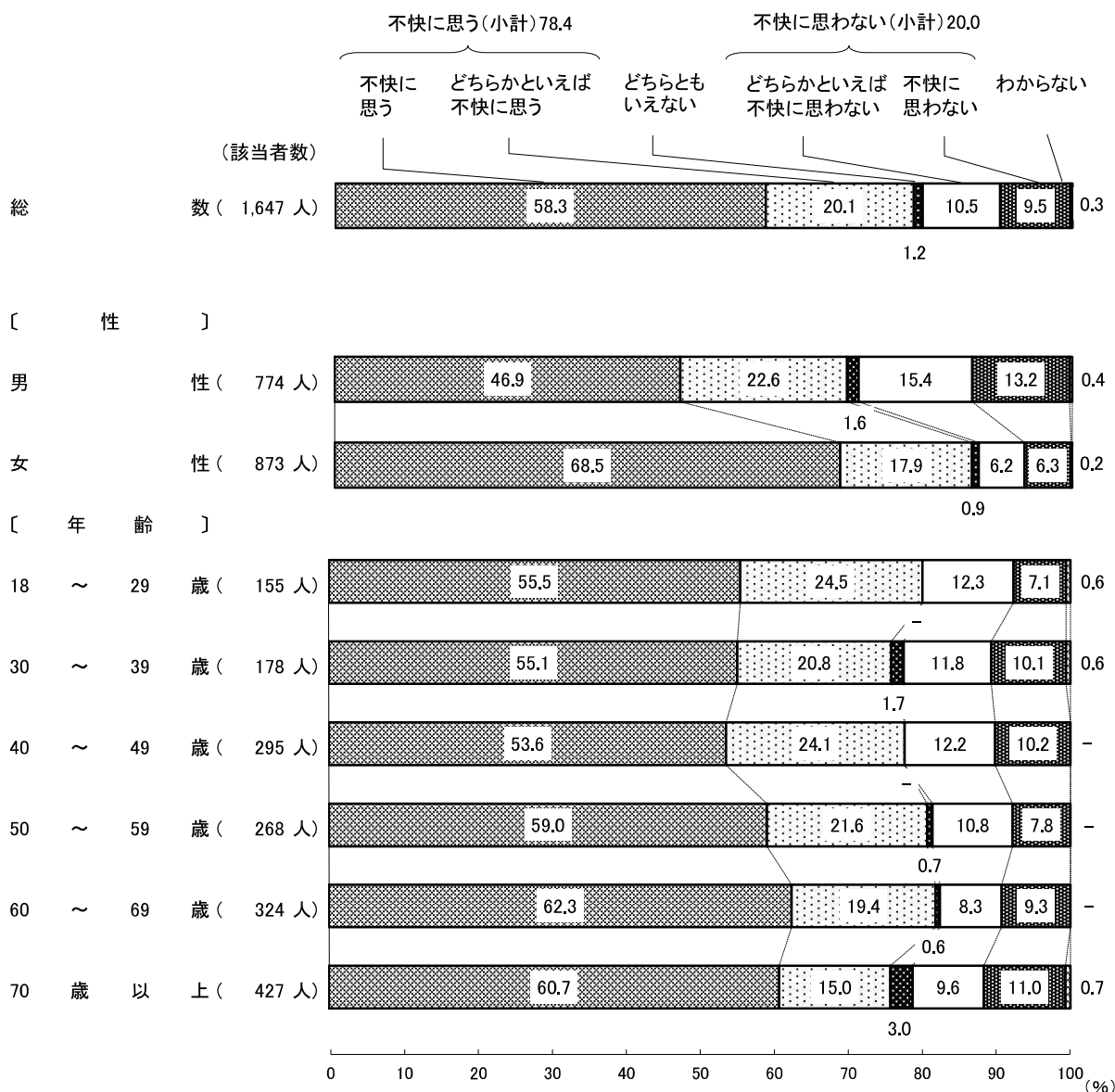


(2) 周りの人のたばこの煙に対する印象

問 1 1 あなたは、周りの人のたばこの煙について、不快に思いますか。
この中から 1 つだけお答えください。

令和元年 7 月

- 不快に思う (小計) 78.4%
 - ・ 不快に思う 58.3%
 - ・ どちらかといえば不快に思う 20.1%
- 不快に思わない (小計) 20.0%
 - ・ どちらかといえば不快に思わない 10.5%
 - ・ 不快に思わない 9.5%

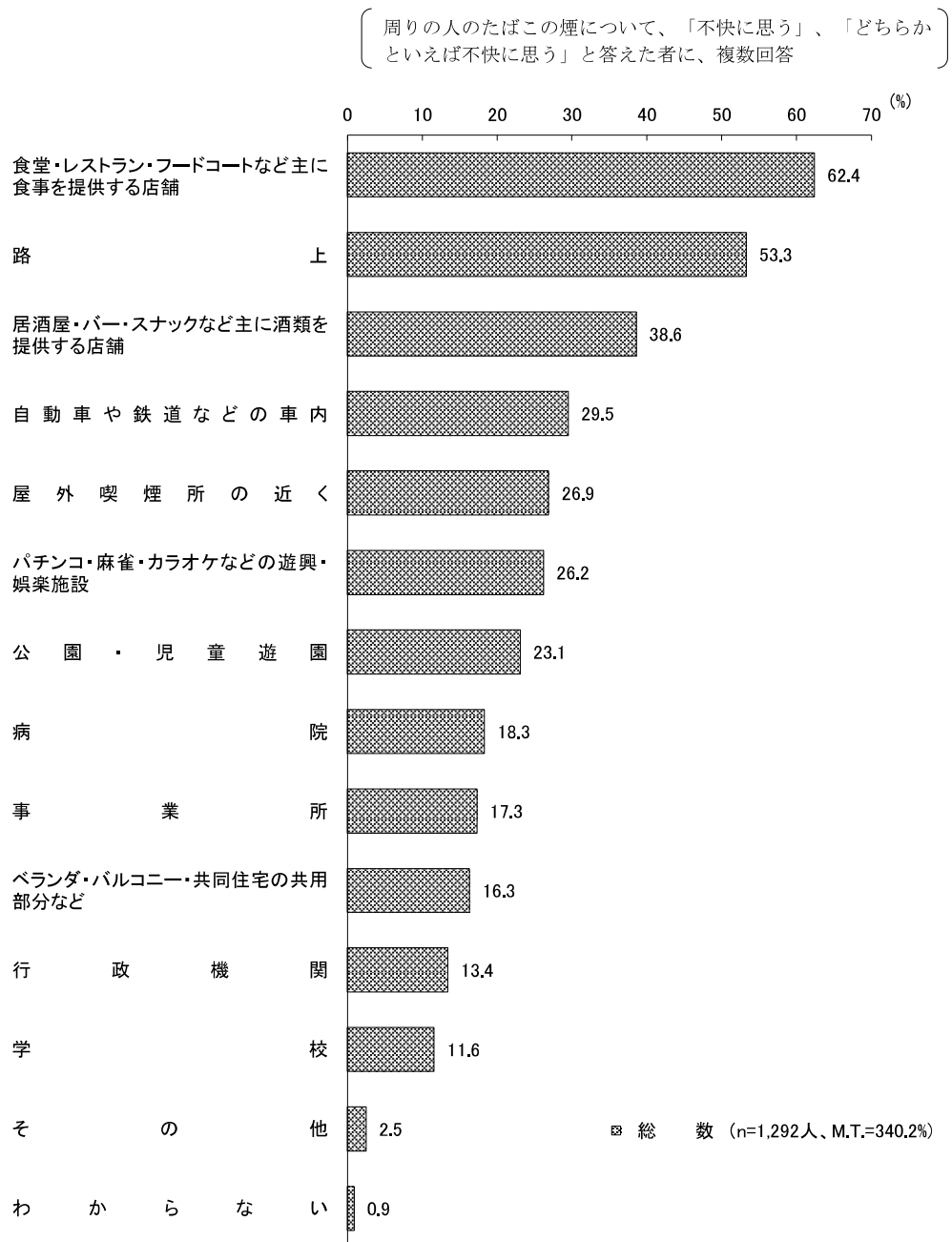


ア 周りの人のたばこの煙を不快に思った場所

更問 (問11で「不快に思う」、「どちらかといえば不快に思う」と答えた方(1,292人)に)
 あなたが、今までに周りの人のたばこの煙を不快に思った場所はどこですか。
 この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位3項目)
 令和元年7月

- ・ 食堂・レストラン・フードコートなど主に食事を提供する店舗 62.4%
- ・ 路上 53.3%
- ・ 居酒屋・バー・スナックなど主に酒類を提供する店舗 38.6%



(3) 健康増進法の改正内容に関する知識

(資料を提示して調査対象者に読んでもらってから質問)

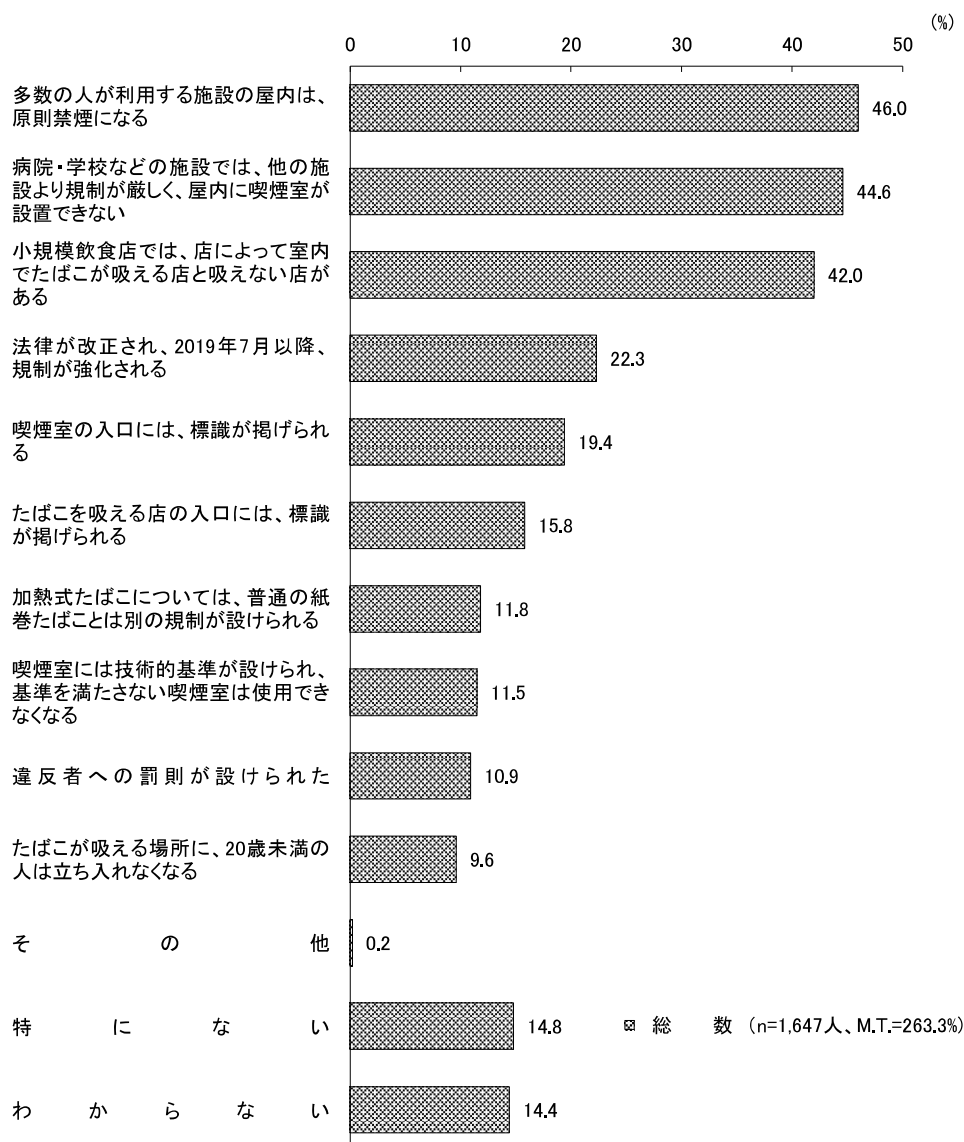
問 1 2 あなたは、健康増進法の改正内容について知っていますか。
この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位 5 項目)
令和元年 7 月

- ・ 多数の人が利用する施設の屋内は、原則禁煙になる 46.0%
- ・ 病院・学校などの施設では、他の施設より規制が厳しく、屋内に喫煙室が設置できない 44.6%
- ・ 小規模飲食店では、店によって室内でたばこが吸える店と吸えない店がある 42.0%
- ・ 法律が改正され、2019年7月以降、規制が強化される 22.3%
- ・ 喫煙室の入口には、標識が掲げられる 19.4%

- ・ 特にない 14.8%
- ・ わからない 14.4%

(複数回答)



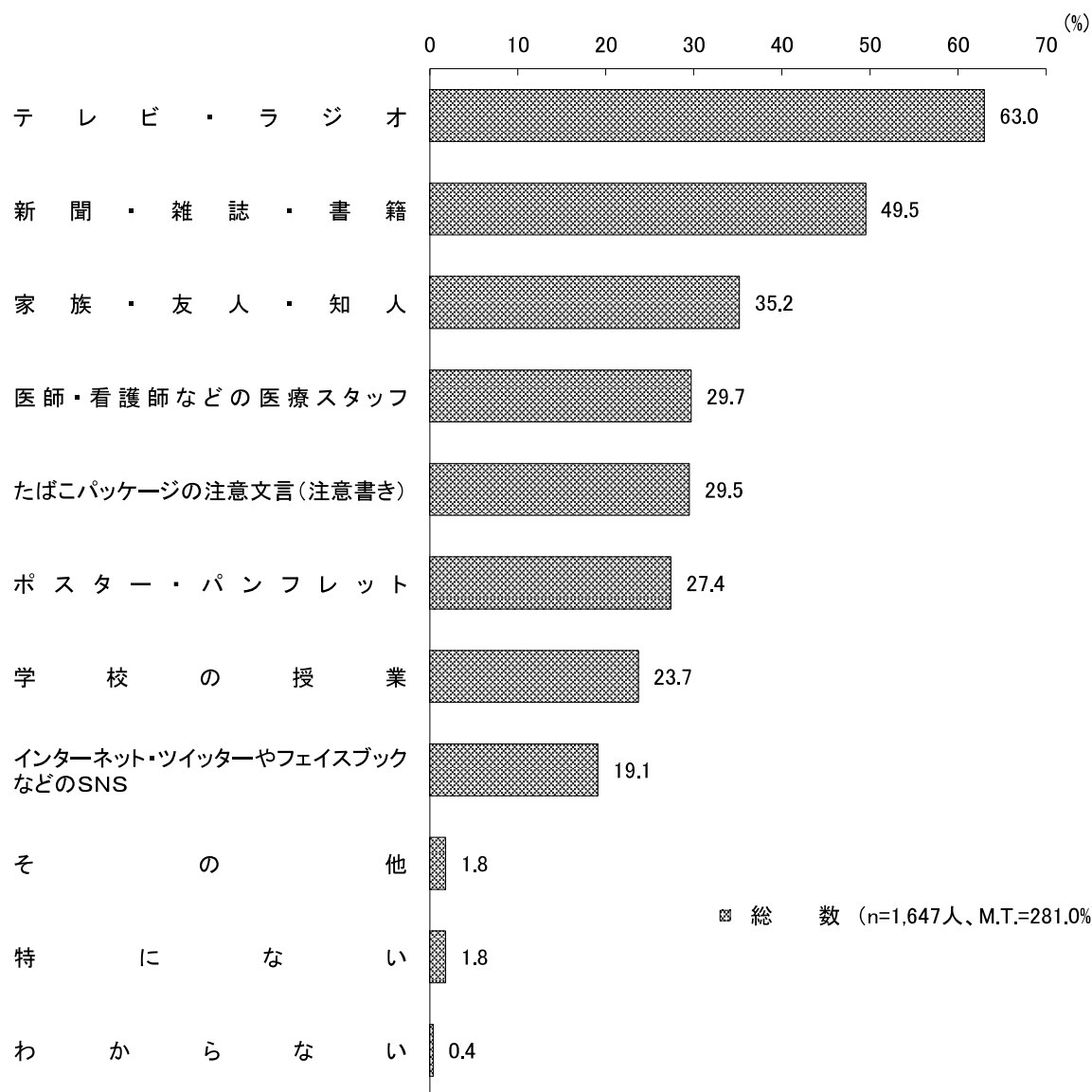
(4) たばこの健康被害の認知方法

問13 あなたは、たばこが健康に悪いことを何から知りましたか。
 あてはまるものを、この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位6項目)
 令和元年7月

- ・テレビ・ラジオ 63.0%
- ・新聞・雑誌・書籍 49.5%
- ・家族・友人・知人 35.2%
- ・医師・看護師などの医療スタッフ 29.7%
- ・たばこパッケージの注意文言(注意書き) 29.5%
- ・ポスター・パンフレット 27.4%

(複数回答)

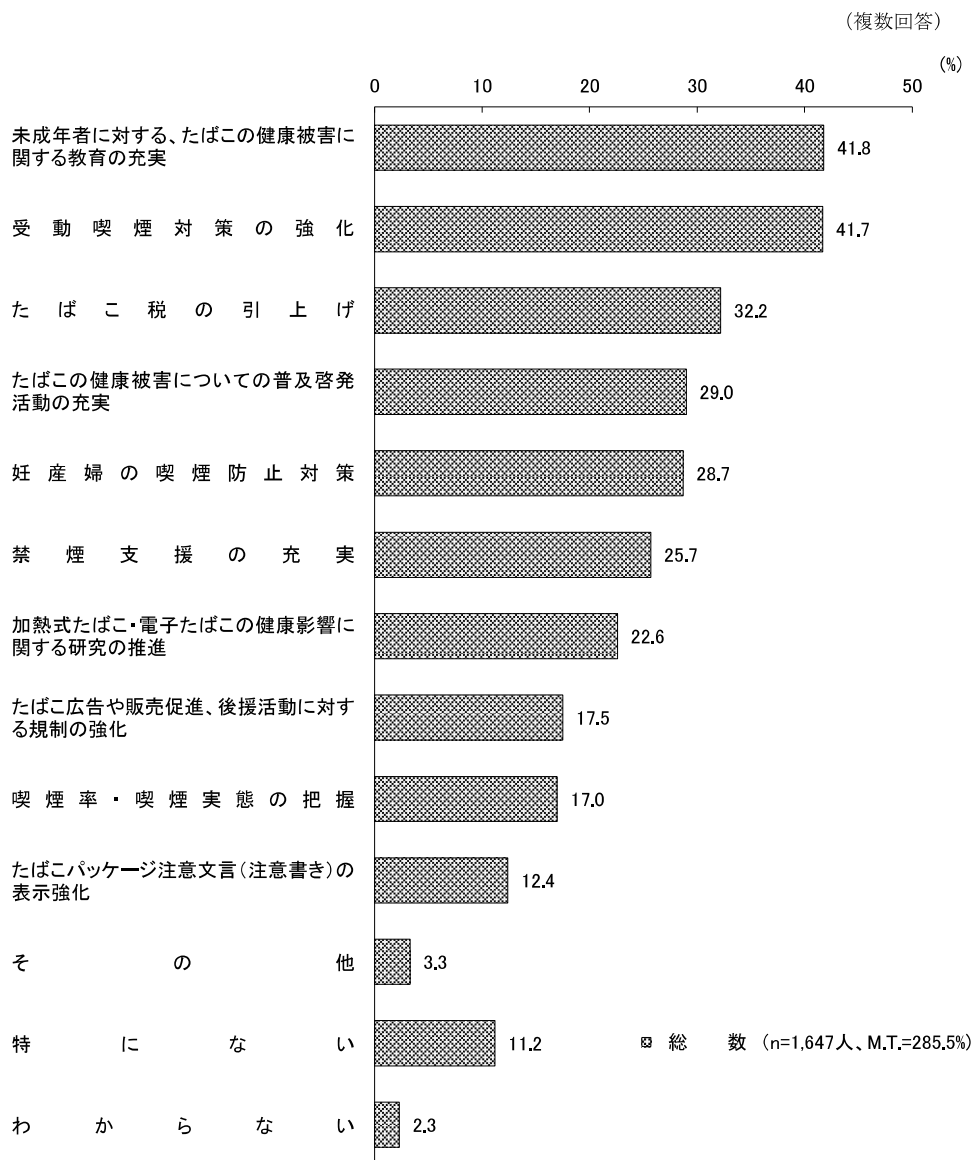


(5) たばこ対策に関する政府への要望

問14 あなたは、たばこ対策について、政府としてどういったことに力を入れてほしいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位7項目)
令和元年7月

- ・ 未成年に対する、たばこの健康被害に関する教育の充実 41.8%
- ・ 受動喫煙対策の強化 41.7%
- ・ たばこ税の引上げ 32.2%
- ・ たばこの健康被害についての普及啓発活動の充実 29.0%
- ・ 妊産婦の喫煙防止対策 28.7%
- ・ 禁煙支援の充実 25.7%
- ・ 加熱式たばこ・電子たばこの健康影響に関する研究の推進 22.6%
- ・ 特にない 11.2%



ア 受動喫煙対策に関する政府への要望

更問 (問14で「受動喫煙対策の強化」と答えた方(686人)に
 あなたは、受動喫煙対策について、政府としてどういったことに力を入れてほしい
 と思いますか。この中からお考えにあてはまるものを、いくつでもあげてください。
 (複数回答)

(上位5項目)
 令和元年7月

- ・屋内喫煙室・屋外喫煙室などの設置による分煙の促進 72.6%
- ・飲食店(小規模店舗を含む)の禁煙推進 60.6%
- ・病院・学校・行政機関などの敷地内禁煙の推進 57.9%
- ・路上・公園などの屋外の対策 57.6%
- ・屋内喫煙室・屋外喫煙室からのたばこ煙の流出防止対策の強化 56.4%

